

平成25年度JK A補助事業における “評価委員会のまとめ”

実施内容・成果及び今後予想される効果

(1) 実施内容

① 子供向け競技用自転車体験及び乗り方教室の開催

補助事業計画の3年目にあたる平成25年度は「めざせ！未来のオリンピックメダリスト in ○○」の名称で、根本的に昨年度の継続事業とし同内容で開催した。

武雄会場は平成25年4月から平成26年1月まで毎月第3日曜に計10回 別府会場は8月31日と10月27日の計2回 合計12回の開催を補助対象として開催した。

メカニックによりきちんと整備され、かつ子供達の体格に合った安全性の高い特注の小径レーサー等を一般市民に無料で貸し出した。

一昨年度補助金で製作した自転車や借上げの自転車及びスポンサーより提供していただいた自転車を加えることにより、すべての希望者にフィットしたサービスを提供した。また講師による的確な技術指導や安全指導を行なった。

自転車を持ち込みされた希望者に対し、メカニックが自転車安全点検を実施し、好評を得た。

4月の武雄会場では、参加者に対してミニ記録会も実施され意欲を沸き立てると好評であった。

また、乗り方教室では、自転車に乗れない子供達を対象に、スタッフと保護者等が一体となり、ペダルが付いていない幼児用ランニングバイクなどを利用して、短時間でバランス感覚を体得させ、その後自分の自転車や小径の自転車に挑戦することを実施した。

そして、乗れるようになった子供たちには、認定証と写真を後日発送した。

競技用自転車体験者だけではなく、乗り方教室の幼児にもヘルメットの着用を義務付けた。

乗り方教室参加者に対しては、アンケートを実施した。

会場にはAED（自動体外式除細動器）を準備し、もしもの時迅速な応急手当ができるように努めた。

② 専門スタッフの派遣協力及び新人の教育・育成事業

耳納連山ヒルクライムシリーズ第1戦（5月26日）、第2戦（6月30日）、第3戦（7月21日）、第4戦（8月18日）、第5戦（9月29日）、第6戦（10月20日）、全6戦にメカニックを派遣し、スタート前の点検を中心に実施することにより、安全な大会運営に協力した。

受付集合場所では、参加者やスタッフにより、周辺に投棄されたゴミの回収を自主的に行なった。

(2) 成果

① 子供向け競技用自転車体験及び乗り方教室の開催

競技用自転車体験における 20 インチ・24 インチなどの子供用ピストレーサーやピストロードレーサーは、世界を含め他ではあまり眼にできず、恵まれた環境の競輪場を有効利用して、子供たちにいち早くスポーツとしての自転車に興味を持ってもらえる機会を作ったと考える。また講師による的確な技術指導や安全指導は子供たちのみならず保護者にも高評価を得るとともに競技力向上や体験者の競技への関心に繋がった。

本格的な競技用自転車の多種多様なサイズを揃えたことは、成長期で体格に幅があるほとんどの年代の子供達に適応でき、比較的短時間でピストレーサーに乗れるようになる。早い段階で体験してもらうことは今後の自転車競技普及には大きな成果が見込める。傍で実施している乗り方教室では、競技用の自転車を体験している子供達を見て、自分もはやく自転車に乗れるようになり、カッコいい競技用自転車に乗ってみたいという意欲に繋がっている。事実、まだ乗れないのに競技用を選択する子供たちもいるくらいである。

乗り方教室では、自転車に乗れなかった多くの子供達が安全に無理することなく、スムーズに短時間で自転車に乗れるようになった。もちろん、チャレンジした子供たち全員が乗れるようになったわけではないが、あらゆるスポーツに繋がるバランス感覚を養う点では、成果があがった。

子供向け競技用自転車体験及び乗り方教室参加者へのヘルメット着用義務化は、着用に対しての違和感の軽減に役立ったと共に、自分達のためであることを自覚してもらった。

また、AED（自動体外式除細動器）を準備するようになったことで、スタッフ内にも意識が高まり、現在ではスタッフの多くが講習会を受講するなどして、救命技能を修得している。

② 専門スタッフの派遣協力及び新人の教育・育成事業

メカニックを配備することにより、参加者は体力面のみならず、メカトラブルにも気を使うようになり、事故やトラブルを最小限に抑え安全性を高めることができた。整備されたマシンの使用は、競技に集中でき競技力向上にも繋がっている。

参加者が安心して自転車を楽しめると好評だった。

(3) 今後予想される効果

① 子供向け競技用自転車体験及び乗り方教室の開催

専門的な競技用自転車を体験したり、自転車に乗れない子供たちが乗り方教室により乗れるようになることは、たとえ自転車競技に進まなくても、バランス感覚を向上させることでスポーツ全般の普及に繋がり、体力アップと心のゆとりが生まれる効果が予想される。

交通ルールやマナーを指導したり、ヘルメットをかぶることが自然にできているので、子供たちが成長してからの効果にも期待したい。

また、会場にAED（自動体外式除細動器）を準備するようになったことは、一般市民参加者への信頼を得る一因となっている。今後スタッフのみならず、一般市民の救命技能の習得も推進し、思いやりのある市民が増えることを期待したい。

② 専門スタッフの派遣協力及び新人の教育・育成事業

メカニックの配備は、メカをあまり得意としない参加者にとって、相談することによりスタート前の不安を払拭でき解決に繋がる。安全が確保されることは、競技力向上や普及に繋がり、競技人口の増加に効果が望めることが予想される。



これらの活動は、競輪の補助金を受けて実施しました。